

人工呼吸器ユーザー主張コンテスト

「在宅も施設も生きづらい！？さあ、どうするわたしの夢^{ゆめ}」

医療的ケアが必要でも、家族と住み慣れた地域で生活しつづける社会基盤が整ってきています。しかし、医療的ケアを引き受けてくれる事業所も、訪問診療医もまだまだ少なく、家族が介護できなくなったら長期療養病院へ…という流れはなくなっていない。在宅しようにも人が足りず、病院や施設は衣食住は確保されていても寝かされっぱなしで自由もない…

そんな時、自分で自由に生活をデザインし、自分の人生を組み立てる「自立生活（一人暮らし）」が自己実現への道への選択肢の一つになる可能性があります。あなたなら、どんな生活をデザインしますか？そんな夢を語り、仲間や社会に発信することで、一步実現に近づくかもしれませんよ。

【開催日時】

2020年10月30日（金）14:00～16:00

【開催場所】

府中市市民活動センタープラッツ第1会議室

東京都府中市宮町一丁目100番地 ル・シーニュ5・6階 京王線府中駅直結
（新型コロナウイルスの感染拡大状況次第ではオンライン開催）

【開催方式】

①応募者は、2000字程度の作文を事務局まで提出してください。

9月中に事前審査で10人を選考し、事務局から結果を通知いたします。

②選考された方は、当日会場で、その作文をスピーチしていただきます。

当日の様子は、インターネットにより生配信する予定です。

※参加者には、当日の体調不良、そもそも外出が難しい方の場合に備え、全員事前にスピーチ動画を撮影（代読もOK）し、事務局に提出しておいていただきます。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じて、いただいた動画を配信する形での開催になる場合もあります。

③当日、審査員による点数性での採点で、最優秀賞を競っていただきます。

【エントリー対象者】

これから自立を目指す予定の、または、自立して間もない人工呼吸器ユーザー当事者
長期療養病院にいらっしゃる方も、奮ってご参加ください！

【テーマ】

「自立生活」を通してどんな夢を実現したいか

その夢を実現するために、どのような支援や制度が欲しいか

【審査員】

穴戸大裕氏（ドキュメンタリー映画監督）

酒井ひとみ氏（日本ALS協会理事、ALS/MNDサポートセンターさくら会理事長）

大塚孝司氏（バクバクの会前会長）

【審査基準】

夢の壮大さ
夢の具体性・実現性
他者への伝える工夫
夢に対する気持ち・想いの強さ
夢の独自性（オリジナリティ）
社会に与えるインパクト
ユーモアのセンス 等
※全てを兼ね備えている必要はありません。

【賞】

最優秀賞	盾、商品券 1 万円分、呼ネット記念品、呼ネットメンバー応援寄せ書き
優秀賞	盾、商品券 5 千円分、呼ネット記念品、呼ネットメンバー応援寄せ書き
審査員特別賞	穴戸大裕監督、出演者のサイン付き DVD「風は生きよという」、呼ネット記念品
参加賞	DVD「風は生きよという」

【応募方法】

2000 字程度の作文を事務局まで提出してください。

Word、テキスト、メール等電子文字原稿の他、原稿用紙やレター用紙等手書きでも構いません。

氏名・住所・年齢・メールアドレス・電話番号をご記入の上、メール・郵送・FAX で下記事務局までお送り下さい。

締め切り 2020 年 8 月 15 日（土）

【原稿送付先（事務局）】

〒190-0022 東京都立川市錦町 3-1-29 サンハイム立川 1F
東京都自立生活センター協議会内
Email : conet.jimukyoku@gmail.com

【主催】

呼ネット～人工呼吸器ユーザー自らの声で～

【後援】

全国自立生活センター協議会（JIL）・東京都自立生活センター協議会（TIL）・ALS/MNDサポートセンターさくら会・バクバクの会・NPO 法人境を越えて

【注意事項および個人情報の取り扱い】

個人や特定の団体を誹謗中傷する内容は除外します。

第三者の著作権その他の権利を侵害しない、またはそのおそれがないと認められるものに限りです。

応募した方の個人情報は厳重に管理し本企画遂行以外の目的に利用することはありません。